聖日礼拝プログラム

司会者 中川彦市兄　奏楽者 渡邉頼子師

讃　美	新427	ただ主を崇めて	一　同
主の祈り			一　同
讃　美	新262	わが生涯は	一　同
交　読	詩　篇19：1～14		一　同
祈　祷			司会者
報　告			司会者
聖　書	使　徒22：1～29		司会者
説　教	「救いの証しの機会」		渡邉貞雄師
献　金	新272	救い主の愛と	山口多恵子姉
頌　栄	新　63	父、御子、御霊の	(起立)一同
祝　祷			渡邉貞雄師

受＝幸子姉／操＝中川姉／A＝中西兄／報＝牧師

今週のみことば

すると主は私に、『行きなさい。わたしはあなたを遠く異邦人に遣わす』と言われました。」

使徒の働き二二・二一

〒515-0044 三重県松阪市久保町1445-7 COG松阪キリスト教会
TEL 0598（29）1780　主任牧師 渡邉貞雄
FAX 0598（29）1791　牧師 渡邉頼子
URL http://matukyo.com
Email sadao@mctv.ne.jp

2024年6月16日 VOL48-24 No.2485

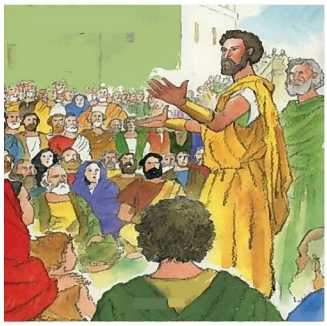
ご報告・消息欄

▼ 本日は「父の日」として記念する日曜日です。一家の長としての守りを感謝し、これからも覚えて祈りをささげていきましょう。「あなたを生んだ父の言うことを聞け。あなたの母が年老いても蔑（さげす）んではならない」　箴言23：22

▼ 先週も一段と暑さが加わりました。お互いの健康の守りを祈りつつ歩ませていただきましょう。

▼ 今週21日(金)は、一年で最も昼の時間が長い日「夏至」になります。「蟻」からも学ぼう（箴30：25）。

▼ 今月末の礼拝で、「福音に生きる信仰者シリーズ」の新約が終わります。来月からは、旧約の「士師記、サムエル記、列王記」に進みます。



にれはみ

２０２４年６月9日
聖　日　礼　拝
使徒２１：１～４０
「捕らえられるパウロ」
説教　渡邉貞雄師

ここは第三回伝道旅行の帰途、パウロたちがエペソの人々と別れ、一路エルサレムに向かった。

Ⅰ、旅：信仰者の楽しい交わり

「旅は道連れ世は情け」と言われるが、同行する仲間との旅は、祈り合う語り合う楽しい幸いな旅であった。パウロたちは沢山の主にある弟子たちや仲間と触れあった。①ツロの人々（４～６）　②プトレマイスの人々（７）　③カイザリアの人々（８～９）。ここで伝道者ピリポと４人の献身した娘たちに出会った。　④カイザリアから同伴した人々（１５～１６）。陸路をパウロたちに同行してくれた。

Ⅱ、旅：意見や見解の相違

①ツロの弟子たちが、パウロの行く末を案じ、御霊に示され「行くな」と忠告をした（４）。　②預言者アガボは、パウロの帯を両手と両足に縛りローマ人にこのようにされると警告をした（１０）。

パウロへの助言は、どれもパウロの身を案じ将来を思いやるもので、互いに祈りと涙を流し忠告する真実なものだった。しかしパウロは、自らの将来を案じることや涙を流すことで、私の心をくじかないようにと懇願した。主イエスが自ら進んで十字架への道を歩まれたように、パウロもこの道を行く固い決意を持っていた。

Ⅲ、旅：エルサレム行きの理由

パウロたちは小アジアで伝道して、福音の前進を見た。一方でユダヤ人の反対も激化して行った（１９：９）。敵意があちこちに飛び火し燃え上がった（２１章後半）。

しかしパウロはその中でも、飢饉に苦しむエルサレムの教会のため、コリント教会が準備した献金を携えて行きたかった（Ⅰコリント１６：３）。なぜパウロは代役を頼まず、命の危険を犯してエルサレムに行こうとしたのかが謎である。ただ御霊が、そのように促しておられたことは確かであった（２０：２２～２５）。

私たちは神がすべてのことを相働かせて善（益）を遂行されることを信じている。どんな苦難の中にあっても、この神を信じ仰ぐ時、神の平安に包まれる。感謝しよう！

◎祈祷会6/12(水)イザヤ38：17
渡邉師　「苦い経験が平安を！」

「ああ、私の味わった苦い苦しみは平安のためでした。あなたは私のたましいを慕い、滅びの穴から引き離されました。」（17）。

38章の始めは、ヒゼキヤ王が重篤な病にかかり「死ぬ」と明言されたところ。しかし彼は、真実に神に(壁に)向き合って、全き心で祈りと願いをささげた。そこで神は、15年の延命を約束された。

私たちの人生にも、苦い経験をさせられる時がある。「良薬、口に苦し」ではないですが、この王の経験は真の平安を体験するステップ(段階)だった。このような苦い経験を味わってでも、神との平安を握る信仰をいただこう。

「今後の集会予定／教会情報」

◎6/19(水) 祈祷会 (ZOOM) (PM7:00)
◎6/22(土) 清 掃 奉 仕 (AM9:30)
◎6/23(日) 楽しい組会 (AM10:00)
◎6/23(日) 聖 日 礼 拝 (AM11:00)

◆ 祈 祷 会 (司) 渡邉師 (説) 頼子師

● 来週礼拝 使徒２７：１３～２６
● 主　　題 「主の希望に生きる」

定 期 集 会 の ご 案 内

◇楽しい組会 (日) 午前10：00～10：45
◇聖 日 礼 拝 (日) 午前11：00～12：00
◇早天祈祷会 (火土) 朝６：30～ ７：00
◇祈　祷　会 (水) 午後７：00～ ８：15

来 週 の 奉 仕 者

◎ 礼 拝 司 会	北 村 兄
◎ 礼 拝 奏 楽	頼 子 師
◎ 礼 拝 献 金	中 川 兄
◎ 受　　付	真 理 姉
▽ 教 会 学 校	随　時
▽ ヤ ン グ	随　時
▽ さー来る①	当　日
▽ さー来る②	当　日
▽ さー来る③	当　日
▽ 昼 食 当 番	な　し
▽ アッシャー	福 田 姉
▽ ＳＳ 入 力	中 西 兄
▽ ＰＰＴ操作	中 西 兄

《《《２０２４年 松阪教会スローガン 「新しいぶどう酒を心に！」 》》》
「新しいぶどう酒は新しい皮袋に入れます。…両方とも保てます。」マタイ９：１７

礼拝の心得

①聖書のヨハネ４：２４に「神は霊ですから、神を礼拝する者は、霊とまことによって礼拝しなければなりません。」とあります。
②始まる時間と５分前の着席を心がけ、奏楽や賛美を聞きながら心の準備をし、待ち望みましょう。
③賛美は感謝の心をもって、主をたたえつつ歌いましょう。
④語られる言葉(メッセージ)の背後にある、神のことばに耳を傾けま しょう。
⑤献金は神への感謝を具体的に表現するものです。心から喜んでおささげしましょう。
⑥その他、携帯音を止めておいたり足音や会話にも心を用いて出席しましょう。
⑦やむを得ず礼拝を休む場合は、牧師 (教会) に連絡をしましょう。